

令和5年第2回議会定例会（所信表明）

次に、本日は、市長として、2期目における初めての定例会ですので、今後の市政運営における私の所信の一端を述べさせていただき、市民の皆様、議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

私は、本年、4月23日に執行されました市長選挙で再選し、引き続き白井市の舵取りを任せていただくこととなりました。

改めてその職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。

今般の選挙では、私以外に立候補者がおらず、無投票となりましたが、2期目に当たり、一層謙虚に、皆様の声を聴きながら、これまで以上に現場主義を徹底し、皆様とともにまちづくりを進めてまいる所存です。

思い返しますと4年前、私は、「白井をもっと豊かに 魅力あふれる白井を次世代に残したい」という思いを胸に、「オール白井」での取組を掲げ、これまでの4年間、市政運営に全力を尽くしてまいりました。

1期目の任期中は、房総半島台風への対応や新型コロナウイルス感染症への対策など、常に危機管理対応に追われる状況が続きました。しかし、こうした中でも、長年の懸案であった北総線の運賃値下げや健康会議等をはじめとした官民連携の取組、市役所南側で造成が始まったデータセンターの企業誘致、GIGAスクール構想の実現、白井第一小学校区・白井第二小学校区でのスクールバスの導入、3つの地区での小学校区まちづくり協議会の設立など、一定の成果を挙げることができました。

これもひとえに、議員の皆様をはじめ、市民の皆様、そして多くの関係者の皆様の御理解と御協力によるものと、改めて深く感謝申し上げます。

さて、我が国の人口は、2008年の1億2,808万人をピークに減少の一途をたどり、本市におきましても、2018年の6万3,793人をピークに人口が減少傾向にあります。さらに、2040年には、人口減少や少子高齢化が進展し、高齢者人口のピークを迎えると予測されています。生産年齢人口の減少から税収が減収となる一方で、社会保障費の増加や社会インフラの老朽化に伴う維持管理費の増加など、地方財政に及ぼす影響は多大なものとなります。

我が国の喫緊の課題である人口減少など、地方行政を取り巻く様々な課題に対し、私は、未来に向けた基盤を築くために、まずは、第5次総合計画に則し、企業誘致をベースとした、地域経済の活性化と雇用確保を促すことにより、人口減少の抑制や関係人口の創出につながる政策を進めていくことが、本市発展の要であり、持続可能なまちづくりへの道筋のひとつであると捉えています。

また、少子高齢化、人口減少問題に加え、深刻さを増す地球温暖化対策、新型コロナウイルス感染症対策、大規模地震等災害対策、生活困窮対策等への対応など、私たちを取り巻く社会情勢は、近年、複雑化、かつ、多様化の様相を呈しております。こうした課題解決に当たっては、これまでの常識や既存の取組だけでは対応が困難であり、今まで以上に向上心あふれる意識と、やり抜く覚悟を持って、革新的で画期的な政策や事業を進めていく必要があります。

こうした状況を鑑み、私の2期目は、持続可能で白井がさらに発展するために新たな挑戦をする時期であると捉えています。

私は、これまでの市政運営を基本としつつ、発展の方向性を正しく見極め、めまぐるしく変化する時代を見据えながら挑戦を進めることが、必要であると考えております。

白井市が持つポテンシャルを高め、今、私たちが享受しているよりも豊かな社会を、夢と希望とともに、次世代につなげていくための挑戦を強力に推進してまいります。複雑多様化する課題に立ち向かうべく、挑戦の旗振り役として 私、自らが先頭に立ち、職員一人ひとりの能力が遺憾なく発揮できるよう市役所の組織力を高め、行政として市民の期待に応えられるよう努力してまいります。

また、持続可能で豊かな地域社会やまちづくりを構築するためには、市民力と地域力が必要です。そして、白井市の将来を支える人材の確保と育成は、欠かせない取組であります。

本市には、既に様々な分野で活躍されている方々が多くいらっしゃいます。先般の市議会議員選挙におきまして、本市議会は女性議員の比率が全国で1位となり、話題となったところです。市議会にとどまらず、様々な分野において、女性ならではの視点がさらに加わり、まちの活性化が大いに促されることが期待されるところです。

地域の活力を最大限に活かすべく、地域で活躍する人材の確保と育成に注力し、人と人との交流により地域の好循環を創出し、まちへの愛着と誇りを育むまちづくりの構築に努めてまいります。

また、公共にとらわれず、様々な分野において協働を深化する仕組みづくりを進めることが、高い市民サービスを維持し、持続可能なまちづくりを進めるためには、必要不可欠となってきました。市民との協働においても、民間のノウハウを活かしたDXの取組などを積極的に取り入れ、柔軟に対応していく新たな仕組みづくりを構築してまいります。

そこで、これらを踏まえ、私の今期、4年間における市政運営の具体的な5つの施策について申し上げます。

1つ目は、「もっと子育て教育のまちに」、2つ目は、「もっと元気で健康なまちに」、3つ目は、「もっと安全・安心なまちに」、4つ目は、「もっとみどり豊かで快適なまちに」、5つ目は、「もっと健全な行財政運営なまちに」、です。

まず、1つ目として、「もっと子育て教育のまちに」を掲げ、子どもを大切にしたまちづくりをさらに進めてまいります。

4年前の所信表明の際にも申し上げましたが、子どもは国の宝であります。私は引き続き、子どもたちが白井で健やかに成長することができるよう、子どもを大切にしたまちづくりを進めてまいります。

既に、児童・生徒に対し1人1台のタブレット導入を実現していることから、教育レベル向上に向けたICTの有効活用はもちろん、児童・生徒の国際化を進展させる取組を進めてまいります。

また、子どもたちの命と健康を守るため、通学路などの安全対策の強化と、特別教室へのエアコン整備を進めてまいりました。

さらに、子どもたちが自分たちのまちに興味関心、愛着を持ち、「シビックプライド」を醸成するために、子どもの声をまちづくりに反映させていく施策にも取り組んでまいります。

2つ目として、「もっと元気で健康なまちに」を掲げ、人生100年時代に合った健康なまちづくりをさらに進めてまいります。

子どもから高齢者まで、障がいのある方もない方も、市民一人ひとりが、生きがいを持って豊かな人生を送るために、生涯を通した総合的な健康づくりを支援してまいります。そのためにも、様々な機関と連携を密に図りながら、心身共に健康を意識できる環境づくりに取り組むため、先進的な仕組みを構築してまいります。

また、子どもや高齢者、そして障がい者などの居場所づくりを拡充す

るとともに、生活困窮者に向けた様々な支援も強化してまいります。

3つ目として、「もっと安全・安心なまちに」を掲げ、人との繋がりや支え合いを大切に、安全・安心なまちづくりをさらに進めてまいります。

就任1期目の4年間では、コロナ禍においても3つの小学校区まちづくり協議会が設立されたことから、地域コミュニティの再生と活性化に向けた取組が着実に進められてきました。地域社会の防災、防犯はもとより、子育てや福祉をはじめとするそれぞれの地域課題に沿ったまちづくりを進めるためにも、引き続き、各地区で、この小学校区まちづくり協議会の設立を進めてまいります。

本年は、関東大震災から100年にあたります。近年、激甚化、頻発化している地震をはじめ、台風や大雨などの自然災害に対し、防災、減災に向けた体制を整備するとともに、自然災害のみならず、様々な大規模災害に備え、防災力の機能強化を図ってまいります。

さらに、子どもたちが安心して通学できるように、通学路などの生活道路の安全・安心対策の強化を図ってまいります。

4つ目として、「もっとみどり豊かで快適なまちに」を掲げ、農・商・工のバランスとともに緑と都市が調和したまちづくりをさらに進めてまいります。

市の特産の梨や自然薯などの農産物を守り、食料自給率を高める取組を拡充してまいります。さらに駅前の活性化を進め、まちの魅力の創出と休耕地を有効活用する取組を進めてまいります。また、本格的な少子高齢化の進展に対応した持続可能な公共交通網の整備に取り組んでまいります。

5つ目として、「もっと健全な行財政運営なまちに」を掲げ、経営的な視点により、自立した行財政運営のまちづくりをさらに進めてまいります。

市民サービスの向上と業務の効率性を図り、職員の働き方改革を進めるため、DXの取組を積極的に進めてまいります。さらに、財政の安定化を図るため、行財政改革の不断の取組を継続しつつ、将来を見据え、市民参加により公共施設等のあり方を見直し、財源の創出に向け、企業誘致とふるさと納税を進め、持続可能でもっと豊かな行財政運営の確立を進めてまいります。

4年前に掲げた「もっと豊かに 魅力あふれる白井を次世代に残したい」という初心は、ゆらぐことはありません。2期目のスタートに当たり、これまで本市発展のためにご尽力された皆様に改めて感謝の意を表するとともに、現市政を預かる私の使命として、ふるさと白井を未来に引き継ぐため、皆様から負託されたこの4年間も粉骨砕身の思いで取り組んでまいる所存です。

社会情勢の変容や世界的なパンデミックの影響により、人々の意識が変化し、多様化する現代社会において、全ての市民が、幸せで生活の豊かさが実感でき、次世代を担う子どもや若者が、夢や希望を持つことができる、魅力あふれる豊かな白井を築くため、市民の皆様、事業者の皆様、行政、そして議員の皆様の英知と力を結集し、「オール白井」でこれらの課題解決に向け、全身全霊で取り組む覚悟でございます。

議員の皆様には、多方面から慎重かつ活発な議論と検討を積み重ねた上で、白井市をもっと豊かにするための建設的な政策提言及び意思決定をしていただき、私は、そのご判断を尊重しながら、未来の子どもたちに対して誇れる白井市となるよう、政策や予算などに反映し、実行してまいります。

そのためには、議員の皆様と様々な情報を共有し、お互いに尊重し、相互理解を深めながら、信頼関係を築き上げていくことが大変重要となつてまいります。白井市をよりよいまちにしたいという思いは、この議場におられる18人の議員の皆様と私は同じです。

白井市の持続可能な発展に向け、ともに白井のまちづくりを前進させていきましょう。

私は、先人や白井を愛する多くの皆様が積み上げてきた歴史を受け継ぎ、白井市をもっと豊かにし、次世代につなげるため、多くの皆様とともに発展し続けるまちづくりを進めてまいりますので、御理解と御協力をお願い申し上げまして、私の2期目の所信表明とさせていただきます。